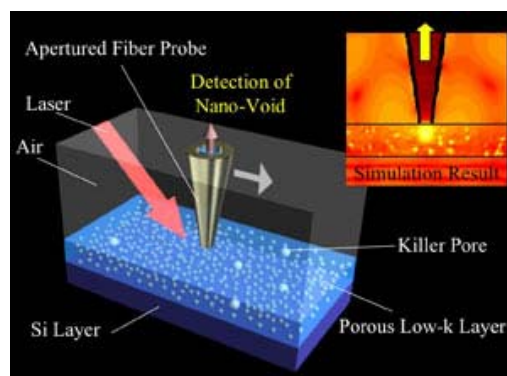
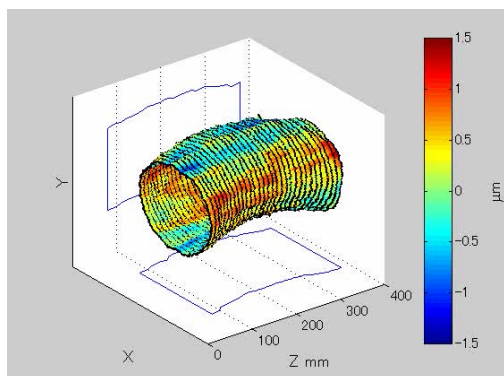


精密工学会 知的ナノ計測専門委員会

ナノスケールの知的計測の確立を目指して
Technology for Intelligent Measurement with Nanoscale

<http://www.nano.pe.u-tokyo.ac.jp/nanomeasure/>



知的なナノメートルオーダーの計測を「ものづくり」へ利用するためには、産官学の協力による計測技術の体系化が必要となります。精密工学会は、この分野における世界的なリーダーシップを持っています。そこで、精密工学会に新しい専門委員会として「知的ナノ計測専門委員会」を設置して、以下のような目的と活動方針に添った、研究を行いたいと考えています。

ぜひ、広い分野からの参加をお願いいたします。

メンバー（予定、依頼中）

委員長： 高増潔（東京大学）

顧問： 清野慧（東北大学）、三好隆志（大阪大学）、沢辺雅二（ミットヨ）
下河辺明（東京工業大学）

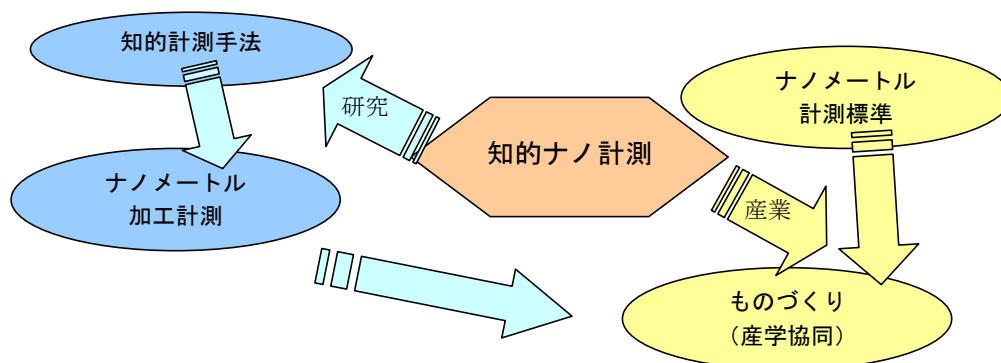
幹事： 高谷裕浩（大阪大学）、高偉（東北大学）、笹島和幸（東京工業大学）
高辻利之（産業技術総合研究所）、古谷涼秋（東京電機大学）、高橋哲（東京大学）

会計監事： 林亮（ナノ）

事務局： 高橋哲（東京大学）

年会費： 個人会員：3,000 円，法人会員：50,000 円

（注）法人税法基本通達 9-7-15-3 による損益勘定として損金に算入することができます。



専門委員会の目的

「ものづくり」のための計測技術の体系化のためには、単なるナノスケールの計測技術を開発するだけでは不十分で、知的なデータ処理やトレーサビリティおよび標準化を含めた技術開発が必要となります。これには、産官学の共同研究により、知的ナノスケール計測を「ものづくり」において活用するナノスケール生産基盤の体系化が不可欠となると考えます。以下の4つのコア計測技術（知的ナノスケール計測技術）に対する研究を産官学の共同で行い、この成果をナノスケール生産基盤として方向付けることで、この分野の日本の有利さをより拡大し、精密工学の発展に寄与することを目指します。

- (1) 知的計測手法の基本的な技術を体系化し、これを産業界で応用する場合の方法を定式化する。
- (2) ナノメートル加工計測技術に知的計測手法を応用するために、対象および手法を確立する。
- (3) ナノメートル計測の標準化により、産業界にナノメートル領域のトレーサビリティを確立するための手法を検討する。
- (4) 上記の3つの項目を踏まえて、産業界において「ものづくり」へ知的ナノメートル計測技術を適用する手法について検討する。

活動内容

- ・ 講演会および見学会を開催する。講演会では、テーマに添った講演と同時に国際会議や海外研究機関などの調査報告を行う。見学会として、先端的な研究機関の研究状況の見学を行う。
- ・ 上記の4つのコア計測技術に関連する文献、製品、国際的な動向などを収集・分析し報告書を作成する。
- ・ 精密工学会春季・秋季大会にてオーガナイズドセッションを企画する。
- ・ 関連する国際会議（ISMTII2007）を主催することで、国際的な協力関係を推進する。
- ・ 知的ナノメートル技術を推進する研究組織として、科学技術研究費の特定領域研究の新規発足をを目指す。また、その他の研究費に対する共同研究計画を提案する。
- ・ 研究成果をワークショップ、セミナー等で広く普及させる。

参加申し込み

以下の内容を、メール、ファックスで事務局までお送りください。

貴社名、委員名（ふりがな）、部署・役職、住所、電話番号、FAX 番号、e-mail アドレス

事務局：（参加希望者はメールで連絡してください）

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻 高橋哲
Tel. 03-5841-6451, Fax. 03-5841-8554, E-mail: takahashi@nano.pe.u-tokyo.ac.jp

